

普通科応用文理コース2年

夏季キャリア教育プログラム

夏休み中の8月18日(木)普通科応用文理コース2年生が、JTBと連携した「キャリア教育プログラムフォローアップ研修」を受講しました。研修内容は、ドラマ教材を使用した社会人の疑似体験(CAS-DRPプログラム)と1年次に受講したキャリア教育プログラム(CASプログラム)の振り返りです。

「CAS-DRPプログラム」は、日本テレビの方が講師となり、ドラマ制作班が作成したオリジナル映像を視聴しながら、登場人物になりきってさまざまな課題を解決すべくグループで話し合いを重ね、個人の感性や特性を可視化することにより自己理解をするとともに、他者理解の力を育む研修でした。

「CASプログラムの振り返り」では、1年次でもお世話になった藤本先生を講師としてお迎えし、グループワークを通して、自らのキャリア設計をし続けることの大切さを学びました。

高校2年生は、職業が身近に感じられ、進路への取り組みの姿勢が主体的になり、一層の意識の高揚につながりました。



日本テレビによるドラマ教材を使用した社会人の疑似体験



藤本正樹先生によるCASプログラムの振り返り